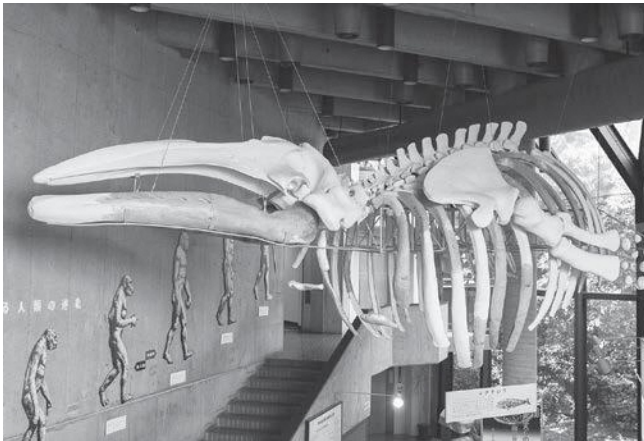


ちばの博物館

http://www.chibahaku.skr.jp/hp/

発行・編集
千葉県博物館協会
〒260-8682
千葉市中央区青葉町955番地
千葉県立中央博物館
TEL.043-265-3111

歴史の記憶に思いをはせて —市立市川考古博物館—



▲コククジラの化石

市立市川考古博物館は、県立博物館設置構想に基づく県立考古博物館の市内への誘致にはじまる度重なる協議の後、昭和47年11月に市立博物館として開館しました。

博物館のエントランスホールでは、国道14号沿いの平田地区から出土したコククジラの化石が来館者を出迎えます。この化石は約5,000年前のもので、当時、形成されつつあった市川砂州に打ち上げられたと考えられています。関東平野が海だった証拠の木下貝層や沼サンゴ層の展示とともに、現在と異なる当時の環境を伝えています。2階の常設展示室では、先土器（旧石器）時代から律令国家の成立までを、「最初の住民」「貝塚の形成」「稲

作文化の伝来」「古墳の出現」「律令の時代」の5つのテーマに分け、市内や県内外の出土品なども展示しています。展示品の中には、平成30年にフランスで開催されたジャポニスム2018に出展された文様の美しい縄文土器のレプリカや、市の指定文化財となっている鬼高遺跡の出土品や誕生仏などがあります。

博物館は国指定史跡の堀之内貝塚と市立市川歴史博物館に隣接しています。博物館では、堀之内貝塚と歴史博物館の一部の施設も活用して、毎年4月から6月にかけて、市内の小学校6年生を対象とした縄文体験学習を、市民ボランティアの協力のもと実施しています。「火おこし」「土器・石器に触れる」「貝塚探検」のほか、復元土器と火おこした種火を使ったアサリの煮炊き・試食も行い、これまでの体験者は本年度で3万人を超えました。

本年度の企画展示「大地からのメッセージ —外かん自動車道の発掘成果—」は、平成9年度から始まった発掘の成果を610点の出土品で紹介するもので、約7,000年前の日本最古の丸木舟が注目を集めました。また、4月から公式ツイッターやインスタグラムの運用を始め、博物館のイベントや日々の様子に加え、文化財の情報を発信しています。

博物館の脇を東京外かく環状道路が通り、またその沿線には「道の駅いちかわ」もオープンしました。今後は、周辺環境の変化に伴う新たな来場者獲得を目指して取り組んでいきたいと思ひます。



▲縄文体験

- ◆開館時間／9時から16時30分まで
- ◆休館日／月曜日、年末年始（12月28日から1月4日まで）月曜日が祝日の場合は火曜日休館
- ◆入館料／無料
- ◆問い合わせ先／電話047-373-2202
- ◆アクセス／北総鉄道北国分駅から徒歩10分

も
く
じ

- 歴史の記憶に思いをはせて・市立市川考古博物館… 1
- 令和元年度総会…………… 2
- 航空科学博物館 開館30周年… 3
- 平成30年度調査研究委員会・研究報
- 告会…………… 4～5
- 秋から冬の催し（10月～3月）… 6
- 展覧会案内…………… 7
- 日誌抄・編集後記…………… 8

No. **144**
2019.9.30

令和元年度総会 千葉県立中央博物館で開催

令和元年度千葉県博物館協会総会が、5月23日（木）千葉県立中央博物館講堂にて開催されました。

はじめに、朝生智明会長の挨拶に続いて、千葉県教育庁教育振興部文化財課の植野英夫学芸振興室長より、行政説明が行われました。

次に、平成30年度顕彰として、下記6名の方が顕彰を受けられました。

天野 誠氏（千葉県立中央博物館）
榎 美香氏（千葉県立関宿城博物館）
川端 保夫氏（千葉県立現代産業科学館）
高橋 覚氏（千葉県立中央博物館）
立川 浩之氏（千葉県立中央博物館）
山下 亮介氏（千葉市立加曽利貝塚博物館）

続いて議事に入り、報告第1号として、市原湖畔美術館の退会が報告されました。

次に、議案第1～3号として、平成30年度事業報告、平成30年度一般会計収支決算報告、平成30年度基金収支決算報告が承認されました。

次に、議案4～6号として、令和元年度事業計画（案）、令和元年度一般会計収支予算（案）、令和元年度基金収支予算（案）が審議され、原案の通り承認されました。

その他、理事及び委員の輪番制についての報告がありました。

なお、令和元年度の役員及び各委員は、右記の通りです。



▲朝生智明会長の挨拶

会 長 朝生 智明（千葉市立郷土博物館）
副会長 大熊 雅美（DIC 川村記念美術館）
副会長 望月 賢二（千葉県立中央博物館）
理 事<広報委員会>
杉山 元明（市立市川考古博物館）
加藤 紫識（和洋女子大学文化資料館）

理 事<調査研究委員会>
矢島 義文（千葉県立現代産業科学館）
望月 幹夫（松戸市立博物館）

理 事<研修委員会>
堀切 由彦（木更津市郷土博物館金のすず）
宍戸 信（佐倉市立美術館）

理 事<地域振興委員会>
鈴木 淳一（千葉県立関宿城博物館）
溝江 晃（館山市立博物館）
監 事 井口 崇（袖ヶ浦市郷土博物館）
小栗信一郎（流山市立博物館）

◇広報委員会

田辺 昌子（千葉市美術館）
柏女 弘道（野田市郷土博物館）
風間 俊人（長南町郷土資料館）
長谷川美穂（千葉県立房総のむら）
土屋 雅人（千葉市立郷土博物館）

◇調査研究委員会

中山 文人（松戸市立博物館）
谷鹿 栄一（千葉県立現代産業科学館）
桐村久美子（袖ヶ浦市郷土博物館）
奥住 淳（芝山町立芝山古墳・はにわ博物館）

◇研修委員会

加藤 久佳（千葉県立中央博物館）
山崎恵美子（千葉県立美術館）
井上 賢（木更津市郷土博物館金のすず）

◇地域振興委員会

御巫 由紀（千葉県立中央博物館）
斉藤 明子（千葉県立中央博物館）
加納 実（千葉市立加曽利貝塚博物館）
久野 一郎（睦沢町立歴史民俗資料館）
北澤 滋（流山市立博物館）
尾崎 晃（千葉県立関宿城博物館）
猪野映里子（大原幽学記念館）

（名簿順・敬称略）

航空科学博物館 開館30周年 ～おかげさまで30年～

航空科学博物館 学芸員 種山 雅夫

航空科学博物館は、我が国で最初に航空の名前を配した博物館として、新東京国際空港（現在の成田国際空港）A滑走路南端に隣接して、平成元年8月1日に開館しました。当館はこの度30周年を迎えることができ、ご来館いただいた人数も600万人を超えました。これもひとえに航空関係のみならず、千葉県博物館協会や全国の航空系博物館を始めとする皆さまのご協力によるものと考えております。

1. 航空科学博物館開館の経緯

世界の航空先進国には、その国を代表する航空機を保存するための国立の施設が整っており、アメリカの国立航空宇宙博物館（航空関係者でスミソニアンという航空博物館のみを意味していますが）、イギリスの王立空軍博物館をはじめ、フランス、ロシア、中国などでも各国の航空史を大切に保管しています。

第2次世界大戦後に我が国は航空禁止の時期があり、その影響もあって、上野の国立科学博物館、神田にあった交通博物館など、他の交通機関などの一部に航空機を保存する施設が存在していました。

いつからともなく、航空関係者の間では、是非とも我が国にも航空博物館を建設しなければならないという機運が細々と芽生えてはおりましたが、実現には至りませんでした。

新東京国際空港の設置に関連し、地元芝山町から航空博物館を建設して欲しいという希望があり、平成元年に当館が開館することとなったのです。

ちなみに、我が国最初の航空専門の展示施設は当館ではなく、残念ながら今は閉館してしまった千葉市立稲毛民間航空記念館と理解しております。



▲成田国際空港の滑走路を間近に見下ろす絶景

2. 航空科学博物館の設立目的

当館の名称として、科学を冠したのは故木村秀政教授であり、常々、次世代を担う若者に対して航空の科学に関する事柄を紹介することにより、将来の航空界の発展に寄与しなければならないと、力説されていました。単に航空機を保存するための博物館ではなく、少しでも航空に興味を持ってもらえるよう、また興味を持った若者

に夢を与えられるような博物館でありたいと心がけています。

当館には、屋外展示場に20機ほどの航空機を展示していますが、木村教授の強い推薦もあったYS-11の試作1号機がその中心となります。



▲屋外展示場の航空機（左奥 YS-11）

3. 開館30周年リニューアル工事

平成30年秋からリニューアル工事に着手し、12月の1か月間を閉館したことにより、来館者の皆さまにご迷惑をおかけしましたが、奇しくも開館30周年にあたる令和元年8月1日にリニューアルオープンを迎えることができました。その最大のポイントは、体験館という新館建設による展示面積の増床にあります。

4. 体験館とは

体験館は、1階にその中心となる体験館ホール、2階には着席できる操縦席を配置したコクピットルームや、ジェット旅客機の機内訓練にも使用可能な客席部分であるキャビン再現（現在工事中）しています。



▲本館北側の747機首に隣接した新館

屋上には成田国際空港から離着陸する機体を間近に見ることのできるテラスを設置しています。

体験館ホールでは、天候にかかわらず模型飛行機を飛ばす体験ができるほか、高さを利用した大航空理科教室など、航空の科学に特化した教室だけでなく、航空ジャンク市、空の日イベントなど多目的に使用できます。

「これで、君も航空博士!」をキャッチコピーに、展示物を展開しています。

平成30年度調査研究委員会・研究報告会報告

芝山町立芝山古墳・はにわ博物館 奥住 淳

平成30年度千葉県博物館研究報告会は、平成31年2月27日（水）に「共生社会の中の博物館－特別支援教育とのかかわりから－」をテーマとして、千葉県立現代産業科学館を会場に開催し、38名の参加者があった。事例報告と講演の要旨を以下に報告したい。

1. 研究報告会の趣旨

調査研究委員会では、平成30・31年度の研究テーマを、近年の博物館・美術館は様々な利用者のニーズ・視点に対応していくことが求められることから、「共生社会の中の博物館」と設定した。平成30年度は、特別支援教育に焦点をあて、先進事例の報告と先行研究の発表とおして、障がい者の博物館利用の現状やあり方について議論を深めていった。

2. 事例報告「千葉県立千葉盲学校における中央博物館との連携授業」

千葉県立千葉盲学校 教諭 東あずさ氏

千葉盲学校は、視覚障害（見えない、見えにくい）に特化した県内唯一の特別支援学校で、幼稚園・小学部・中学部・高等部・理療科がある。幼児・児童・生徒数



▲東あずさ氏

は約70名で、3歳から50代までの幅広い年齢の方が通っている。盲学校での千葉県立中央博物館での学習は、平成5年から始まり、小学部の職員が博物館のヘビの講座を受講したのがきっかけだった。

現在は、理科学習をしている4年生以上の児童に、1年に2回（90分程度）、博物館または盲学校で学習を行っている。授業は、学芸員・理科担当の教員・担任で行い、授業と教材の準備は学芸員、事前・事後学習、全体の進行と子どもたちの観察の支援は教員と分担している。博物館学習を行っている理由は、学校にはない資料や教材、環境があり、子どもたちは五感を働かせながら対象物を触り、理解することができること、専門家は、生き物それぞれが知恵を働かせ、工夫して一生懸命生きていくという、生物の多様性の素晴らしさを伝えてくれることが挙げられる。

テーマは、植物・昆虫・哺乳類・両生類と爬虫類・鳥・魚や海辺の生き物・石と岩石などで、3年間で同じテーマが重ならないようにしている。学習を行う際には、自分の感覚で対象物の特徴をつかめるよう、対象物を触ったり見たりする時間を十分にとっている。学習の様子は、両生類・爬虫類の学習では、学校近くの田んぼでオタマジャクシを捕まえて理科室で観察、岩石・鉱物の学習では、博物館の生態園と研修室で大きな石を触り、小さな石を詳しく観察している。今年度は、箱根方面への修学旅行に向けて、①学校で「火山について知ろう」（火山ガス・溶岩の流れ方の実験）→②中央博物館で「岩石・鉱物について」（軽石や溶岩の観察など）→③再び学校で「好きな石を見つけて磨く」→④箱根ジオミュージアムで「大涌谷の特徴について」という取り組みを行った。また、博物館学習の後に館内の見学を1時間程度行って、体験学習室（たいけんのもり）が児童に人気があり、縄文土器パズルや動物のはく製などに触れて楽しんでいる。

今後も博物館学習を続けていくために、①人事異動があっても、博物館学習のねらいや連携の仕方を引き継げるようにする、②博物館と学校の、人と人とのつながりを大切にしていく、③博物館学習だけでなく、児童の興味関心を、さらに学校の中で育てていく、④児童が卒業後も博物館をはじめ、様々な教育施設を利用しようという意欲につなげるようにすることを心がけていきたい。

3. 講演「特別支援学校の子どもたちを博物館の学びにつなぐ」

明治大学文学部教授 駒見和夫氏

日本の博物館法は、博物館には資料の収集、保存管理、展示（教育普及）、調査研究という4つの目的があると定義している。これに対して、国際博物館会議規約では、博物館の目的は、人々の教養、研究、楽しみのために、資料を収集、保存管理、調査研究、展示する機関と位置づけている。そして、生涯学習社会



▲駒見和夫氏

の博物館は、あらゆる人たちに学びを提供して生きる権利を保障する教育機関であること、社会生活から疎外・排除されがちな人々を、成員として包摂し、コミュニティを構築していこうとする「ソーシャル・インクルージョン」の理念に基づいた活動が求められている。

和洋女子大学文化資料館にいた時に、次のように特別支援学校との連携を行った。筑波大学附属聴覚特別支援学校では、中学部の地域学習（縄文時代の貝塚・下総国府・国分寺）を行う場として資料館を位置づけ、パソコン教材の作成、資料館での学習、出前講座、成果物の展示という循環型のロードマップを作成した。生徒たちが国府の様子をジオラマで再現したり、劇を作って文化祭で発表を行った。

千葉県立千葉聾学校中学部・高等部での出前講座は、「房総地域の古代の暮らしを感じよう」をテーマに、下総国府の発掘調査成果の説明を先生に手話をしてもらいながら行い、出土した土器の触察を行った。

東京都立葛飾特別支援学校高等部での出前講座は、「土の中から出てきたよー土器、そして博物館ー」をテーマに、出土した古代の土器をさわって今のお茶碗と比較し、スタッフと交流しながら観察を楽しむことをねらいとして行った。

東京都立鹿本学園中学部（肢体不自由）での出前講座は、「考古学で古代の歴史を体験しようー博物館を楽しむヒントー」をテーマに、出土した貝殻と土器を触察し、古代の生活と地域の歴史を身近に感じることができることをねらいとして行った。

これらの実践やアンケートにより、特別支援学校教員の博物館認識として、①博物館学習が低調な実態とその理由（授業カリキュラムの中に組み入れることが難しい。博物館の発信する情報が特別支援学校に伝わってこない）、②博物館学習を実施すると評価・満足度は概ね高い（体験や触察の学習）、③博物館の実地利用が困難（物理的・心理的）な児童・生徒の存在が

明らかとなった。

さらに、重度の知的障害の子どもたちに博物館を開く試みとして、東京都立北特別支援学校中学部（肢体不自由）で、「土のなかからでてきたよーむかしの道具の土器、そして博物館ー」をテーマとした出前講座を行った。参加した教員へのアンケートには「土器や博物館について、理解できた生徒は多くなかったのかもかもしれません。それでも新しいものに触れることができたのは、どの生徒にもよかったです」「実際に現地に行くことにハードルが高い車いすの生徒にとって、実物を手にしながら、専門家に教えてもらえる機会は本当に貴重な学習体験でした」などの回答があった。

4 質疑・討議

質疑・討議は、発表者の東氏と駒見氏に加えて千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部長斉藤明子氏にパネリストを務めていただいた。参加者からは、事前打ち合わせの内容、博物館での障害への対応や配慮の実際、障がい者向けの普及事業の事例などについて質問や意見が出され議論を深めていった。なお、本研究報告会の詳細は、令和2年に刊行予定の『MUSEUM ちば』第46号に掲載される。



▲質疑・討議

虫菌害対策(ガスくん蒸)・生物生息調査・空気環境調査

文化財保存の
エキスパート

ECC 環境コントロールセンター

【本社】(環境部・研究開発室・営業部・総務部・経理部・情報管理室)
〒260-0806 千葉市中央区宮崎1-22-10
TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402
URL <http://www.e-c-c.co.jp>

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板
道路標識・街路表示板・観光絵看板
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号

有限会社 大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地
TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224
E-mail: art-studio.okubo@apost.plala.or.jp

*秋から冬の催し (10月~3月) *

館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行 事 名	開催期間・期日
●浦安市郷土博物館	TEL 047-305-4300 展覧会 「大塚勉写真展～浦安に生まれて～ Site 埋立地 1971-2019 生成する場」 11月2日～12月8日 展覧会 「浦安の海苔養殖」 令和2年1月4日～3月8日		●千葉県立美術館	TEL 043-242-8311 展覧会 令和元年度第69回千葉県美術展覧会 開催中～10月20日 展覧会 令和元年度特別展 絵のみち・祈りのこころ ー日本画家 後藤純男の全貌ー 11月2日～令和2年1月19日 展覧会 アートコレクション・プラス 近代洋画の先駆者 浅井忠11 ートナーハクの名画がやってきたー 令和2年1月28日～4月12日	
●鴨川シーワールド	TEL 04-7093-4803 講演会・講座等 動物友の会月例会 10月19日・26日、11月23日・30日、12月14日・21日、令和2年1月18日・25日、2月15日・22日、3月14日・20日 講演会・講座等 ジュニアトレーナー 10月5・6・12・14・19・20・26・27日 講演会・講座等 ウインタースクール 12月25日～28日		●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333 展覧会 企画展「龍角寺古墳群とその時代」 10月12日～12月8日 その他イベント等 ふるさとまつり 11月3日 展覧会 トピックス展「刀剣と甲冑の世界」 令和2年2月1日～3月8日	
●君津市立久留里城址資料館	TEL 0439-27-3478 展覧会 「長板中形 ー松原伸生の藍型染ー」(仮称) 前期10月26日～11月10日 後期11月12日～24日 講演会・講座等 城を歩こう 12月21日		●千葉市科学館	TEL 043-308-0511 その他イベント等 千葉市科学フェスタ2019メインイベント 10月12日～13日 その他イベント等 第21回火星ローバーコンテストin千葉 12月7日	
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123 03-5777-8600 展覧会 企画展示「ハワイ日本人移民の150年と憧れの島のなりたち」 10月29日～12月26日 展覧会 特集展示「石鹸・化粧品の新現代史」12月3日～令和2年5月6日 展覧会 特集展示「描かれた寺社境内」 12月24日～令和2年2月2日		●千葉市美術館	TEL 043-221-2311 展覧会 「ミュシャと日本、日本とオリク」 開催中～10月20日 展覧会 「新収蔵作品展 蕭白と鉄斎、一村と魁夷-収蔵をめぐるひとみ-」 開催中～10月20日 展覧会 「目[mé] 非常にはっきりと わからない」 11月2日～12月28日 ※令和2年1月～6月 工事のため休館	
●佐倉市立美術館	TEL 043-485-7851 展覧会 「小林ドンゲ展」 11月2日～12月22日 展覧会 「エッセジャーが生涯慕ったグラフィック・アーティスト メスキータ展」(仮称) 令和2年1月25日～3月22日 展覧会 「収蔵作品展 めぐる千葉」 令和2年3月28日～5月17日		●千葉市立加曾利貝塚博物館	TEL 043-231-0129 その他イベント等 縄文秋まつり 10月5日・6日 その他イベント等 ナイトミュージアム 11月30日 講演会・講座等 発掘調査現地説明会 11月30日	
●山武市歴史民俗資料館	TEL 0475-82-2842 展覧会 「成東・東金食虫植物群落の四季 II期 秋・冬編」 開催中～令和2年3月22日		●千葉市立郷土博物館	TEL 043-222-8231 その他イベント等 鎌倉騎馬武者体験 10月12日、11月9日 講演会・講座等 千葉市・千葉大学公開市民講座「戦国期東国社会のなかの千葉氏」 12月15日 展覧会 特別展「海と千葉」(仮称) 令和2年1月15日～3月1日	
●芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	TEL 0479-77-1828 その他イベント等 勾玉づくり・火おこし体験 11月3日・10日		●長南町郷土資料館	TEL 0475-46-1194 展覧会 「保育絵本に見る1970年代」(仮称) 11月～令和2年2月(予定)	
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562 展覧会 「浮世絵でよむ南総里見八犬伝」開催中～10月12日 展覧会 「東金アーカイブプロジェクト2019 携帯カメラで記録された東金の街並み、自然、文化」 10月29日～11月9日 展覧会 「九十九里浜の網主画家 斎藤藤石」 11月19日～12月14日		●DIC川村記念美術館	TEL 043-498-2672 展覧会 描く、そして現れるー画家が彫刻を作るとき 開催中～12月8日	
●市立市川歴史博物館	TEL 047-373-6351 展覧会 企画展「発見・体験 昔の暮らし」 11月3日～令和2年2月16日		●流山市立博物館	TEL 04-7159-3434 講演会・講座等 古文書講座 10月6日・20日 その他イベント等 博物館子ども教室「煎茶教室」 10月19日 展覧会 姉妹都市締結記念企画展「岩手県北上市展」 令和2年1月11日～3月15日	
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811 展覧会 「幕末維新の西上総ーおらかの慶応4年ー」 10月5日～12月15日 展覧会 「出土遺物公開事業 eco生活事始め」 令和2年1月11日～3月1日		●成田山書道美術館	TEL 0476-24-0774 展覧会 浅見錦龍展／千葉県書道協会役員展 開催中～10月20日 展覧会 和刻法帖(にっぽんのてほん) 10月26日～12月15日 展覧会 新春特別展 成田山の書画 令和2年1月1日～2月16日	
●館山市立博物館	TEL 0470-23-5212 展覧会 新・地区展「館野」 令和2年2月1日～3月22日 その他イベント等 歴史教室「わたしの町の歴史探訪ー館野地区ー」 令和2年3月8日		●成田市下総歴史民俗資料館	TEL 0476-96-0080 展覧会 企画展「故郷の宝物ー指定文化財展ー」 10月5日～11月24日	
●千葉経済大学地域経済博物館	TEL 043-253-9843 展覧会 企画展示「ギルフォイル氏収集資料展」(仮称) 11月9日～令和2年2月1日 講演会・講座等 古文書講座 令和2年1月25日、3月7日 展覧会 学芸員課程調査実習成果展 令和2年2月8日～3月24日		●野田市郷土博物館	TEL 04-7124-6851 展覧会 特別展「郷土史へのまなざし」 10月5日～令和2年1月20日	
●千葉県立現代産業科学館	TEL 047-379-2000 展覧会 開館25周年記念企画展「潜水 ー水中の科学・技術・仕事ー」 10月12日～12月1日		●ふなばしアンデルセン公園子ども美術館	TEL 047-457-6661 特別企画展「オーデンセ市姉妹都市提携30周年記念 30のアーティストが贈るTHEアンデルセン展」 開催中～11月4日 展覧会 「第11回いきがみコンクール展」 令和2年3月15日～5月6日	
●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400 展覧会 企画展「オビシヤはつづよ400年ー年のはじめの村まつりー」 10月4日～12月1日 展覧会 第19回関宿城百景写真展 12月6日～令和2年1月19日		●松戸市立博物館	TEL 047-384-8181 展覧会 館蔵資料展「縄文貝塚 貝の花遺跡展」 10月5日～11月24日 ※「eco生活事始め」展を同時開催 展覧会 館蔵資料展「小金城と根木内城」 令和2年1月11日～3月22日 講演会・講座等 「仁徳天皇陵の調査と世界文化遺産への登録」(仮称) 令和2年1月25日	
●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111 展覧会 「カミツキガメ ーどのような生きものか?いるとなぜいけないのか?ー」 10月26日～令和2年1月13日 展覧会 春の展示「うめ・もも・さくら」 令和2年2月15日～5月17日		●松山庭園美術館	TEL 0479-79-0091 展覧会 「挑戦～コノキ・ミクオの新作展」 開催中～11月10日 展覧会 「佐藤ミキ写真展」 11月15日～12月15日 展覧会 「十人十色～楽しい個展めぐり～」 12月20日～令和2年1月26日	
●千葉県立中央博物館大利根分館	TEL 0478-56-0101 展覧会 収蔵品展「古い道具と昔の暮らし」 開催中～令和2年3月6日 その他イベント等 イベント「昭和の名車大集合8」 11月3日(雨天翌日延期)		●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131 展覧会 美術収蔵品展「王子江 雄原大地展」 11月16日～12月18日 展覧会 美術収蔵品展「本納絵馬の系譜と房総の風景画展」 令和2年1月18日～3月15日 展覧会 第2回テーマ展「郷土の先覚者 千葉三郎」 令和2年1月25日～4月12日	
●千葉県立中央博物館大多喜分館	TEL 0470-82-3007 展覧会 企画展「鉄砲のあゆみー火縄銃から回転式銃までー」 10月25日～12月8日 展覧会 特別公開「玉前神社・一宮町の宝物ー一宮藩と加納家ー」 12月13日～令和2年2月9日		●八街市郷土資料館	TEL 043-443-1726 展覧会 「戦争の記憶 八街」 10月8日～12月8日	
●千葉県立中央博物館分館海の博物館	TEL 0470-76-1133 その他イベント等 博物館探検隊 (バックヤードツアー) 11月3日 講演会・講座等 講座「ヒラムンってどんな生きもの?」 令和2年1月26日		●八千代市立郷土博物館	TEL 047-484-9011 展覧会 第2回企画展「戦争と八千代」(仮称) 10月6日～11月24日 展覧会 暮らしのうつりかわり展「昭和の暮らし」(仮称) 12月14日～令和2年2月16日 その他イベント等 「伝統装束体験」 令和2年2月2日	
			●和洋女子大学文化資料館	TEL 047-371-2494 展覧会 「和洋学園のたからものー卒業生からのメッセージー」 10月7日～11月3日	

* 展覧会案内 *

DIC 川村記念美術館
描く、そして現れる

一画家が彫刻を作るとき

20世紀以降のすぐれた画家たちの中には、斬新な立体作品を制作した作家たちがいました。従来の方法にとらわれない画家ならではの視点が、20世紀の彫刻の歴史を更新したともいえます。本展では、画家の平面と立体の作品を並べて展覧し、国内外の25人の画家たちが、



カンヴァスから踏み出して試みた実験をご紹介します。

サイトゥオンブリー 手前:《無題》1990年 ブロンズ
奥:《無題》1968年 家庭用塗料、クレヨン、カンヴァス
DIC川村記念美術館蔵 © Cy Twombly Foundation, 2019

<会 期>開催中～12月8日(日)
<休館日>月曜日(祝日の場合は翌平日)
<観覧料>一般1,300円 学生・65歳以上 1,100円
小・中・高生 600円

城西国際大学水田美術館

九十九里浜の網主画家・斎藤巻石

斎藤巻石(1798～1874)は、九十九里浜を代表する網主で、別邸「大洋庵」に梁川星巖(やながわせいがん)ら来遊した文人を迎えて交流し、また書画を収集して一大コレクションを築き、自らも南画山水をてがけました。本展では、文化拠点として地域の発展に寄与した巻石の初期から最晩年までの作品を年代順に展示し、巻石の画業をたどります。



《夏景山水図》部分、文久3年(1863)、個人蔵

<会 期>11月19日(火)～12月14日(土)
<休館日>日曜日・月曜日・祝日
<観覧料>一般300円 高校生以下無料

鋸山美術館(金谷美術館から改称)
南房総 ART ニューウェーブ
～鋸山アニマルワールド～

南房総で活躍するアーティストを紹介する展覧会。南房総はアート活動が活発な地域で、独自のアートイベントが多く開催されています。出品作家は山口マオや宮下昌也など総勢12名。テーマは酪農発祥の地ともされる南房総ならではの「動物(アニマル)」で、大人から子供まで楽しめるポップな内容となっています。



鋸山美術館
展示の様子

<会 期>開催中～10月14日(月)
<休館日>火曜日
<観覧料>一般800円 中・高生500円 小学生以下無料

千葉県立美術館

特別展「絵のみち・祈りのこころ」

—日本画家 後藤純男の全貌—

大自然の荘厳な美しさを生涯追い続けた日本画家、後藤純男(1930-2016)は、千葉県野田市に生まれ、日本美術院を中心に活躍、内閣総理大臣賞など数々の賞を受賞し、東京藝術大学では教授として実技指



後藤純男《山門雨後》千葉県立美術館蔵

導にあたりました。本展では、初期から晩年の作品まで、北海道・上富良野町にある後藤純男美術館の協力を得て、一堂に紹介します。

<会 期>11月2日(土)～令和2年1月19日(日)
<休館日>月曜日(祝日の場合は翌平日)
<観覧料>一般1,000円 高・大学生500円
中学生以下・65歳以上無料

日誌抄

事務局

■平成30年度第3回役員会

平成31年4月25日（木）13時30分～15時30分

会場／千葉県立中央博物館

内容／①平成31年度総会議案について

②理事・委員の輪番制について

③ICOM派遣候補者の選定方法について

■令和元年度総会

令和元年5月23日（木）13時30分～14時30分

会場／千葉県立中央博物館

内容／①平成30年度顕彰

②平成30年度事業報告及び一般会計、基金収支決算報告

③平成30年度一般会計及び基金収支決算監査報告

④令和元年度事業計画（案）及び一般会計、基金収支予算（案）

⑤理事・委員の輪番制について

研修委員会

■第1回委員会

令和元年8月8日（木）14時30分～15時45分

会場／千葉県立美術館

内容／研修会について

調査研究委員会

■第1回委員会

令和元年6月26日（水）10時～11時40分

会場／千葉県立現代産業科学館

内容／事業計画・予算・研究報告会について

広報委員会

■第1回委員会

令和元年6月14日（金）14時～15時

会場／千葉市美術館

内容／令和元年度会報の編集計画について

■第2回委員会

令和元年8月2日（金）14時～16時

会場／千葉市美術館

内容／①会報『ちばの博物館』No.144号の編集・入稿について

②会報『ちばの博物館』No.145号の編集計画について

編集後記

『ちばの博物館』144号をお届けいたします。

加盟館園、各委員会の皆様におかれましては、情報提供または原稿作成にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

館内では、来館者が展示資料を見ながら、ワクワクしている様子が目に留まります。そのワクワク感、学芸員や研究員が、資料を調査・研究する時に生じる感覚と同じかもしれません。今後も、来館者に資料のワクワク感をお届けしたいと思います。（土屋）

印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク

〒273-0015 船橋市日の出2-2-13 第2ナカイビル102

営業時間／9:00～18:00 定休日／日曜・祝日

TEL.047(437)6208



関東港業株式会社
KANTO KOGYO Co., Ltd.

Protect Cultural Assets !!

IPM理念に基づいた
保存環境の調査～提案・施工まで
文化財保存対策なら当社にお任せ下さい

専用くん蒸庫完備
(各種薬剤対応)
28ml/9ml対応

各種くん蒸施工・環境調査・クリーニング・資料保存用品 ect

〒261-0002

千葉市美浜区新港58-2

TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080

http://www.kan-ko.co.jp

水族館・動物園等の企画 / テザイン・設計・施工・管理
株式会社 鬼工房
東京都千代田区神田神保町 2-48
TEL 03-5221-1102 FAX 03-5221-1183